

平成29年度当初予算各部予算要求の状況に対する意見回答

回答部署	意見	平成29年度当初予算における対応状況及び市の考え方・今後の方針
企画課	まちづくり市民アンケートで市民の声を聴いたことにしたいのだけれどそれでは本当の市民の声は聴けない。アリバイ作りだけのアンケートは不要。	第五次北本市総合振興計画では、目標管理型の計画として、目指すまちの姿を、成果指標を用いて進捗管理・評価することとしています。本アンケート調査は成果指標の状況を把握するために必要なものとなりますので御理解ください。 当初予算対応状況：2, 473千円
企画課	くらしの便利帳作成事業。全戸配布しても半分以上がごみだろう。仕事をしている家庭はネットで調べるし、お年寄りも直接電話をしてくる。住民の行動がわかっていない。	今後、必要性も含め検討していきます。 当初予算対応状況：計上せず
税務課	オリジナルナンバープレート交付事業。こんなもので市への愛着や誇りを持たない。財政状況が厳しいならやるべきではない。	原動機付自転車のオリジナルナンバーについては、議会の一般質問、市長と若者によるまちづくり意見交換会等により要望・提案をいただき、導入について先進地の事例を参考にしながら、検討を行っていました。 平成29年2月1日現在の導入状況については、埼玉県内63市町村中、約半数の34市町村が実施しており、今後も増加する見込みです（全国では、1719市町村中、461市町村実施）。 北本市についても、プレートのデザインを公募により決定し、市民の方々に北本への愛着や誇りを持ってもらうとともに、北本市の魅力を市内外にPRし、地域振興や観光振興を進めていきます。 当初予算対応状況：1, 400千円
環境課	容器ごみの回収を増やすことも認められない。コストも示さずに実施したアンケートの結果は無効である。やりたいならコストを一切増やさずにやること。	容器包装類の回収回数拡大については、市民の皆さんの要望をもとに平成28年10月からの実施を計画していましたが、市議会で付帯決議がありましたので、実施の有無について再度検討するため、アンケートを実施しました。このアンケートでは、市民の皆さんに収集費用を御理解いただくために、限られた紙面の中で示させていただきました。また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき設置している北本市廃棄物減量等推進審議会での審議を依頼しました。この審議の中で北本市の人口が減少し続けている現状を鑑みると、容器包装プラスチック類の回収回数は、コスト面のみで決定するべきではないと、答申中の付帯意見にありました。今後は、これらの結果を踏まえうえて、10月からの実施をめざし、進めていきます。 当初予算対応状況：16, 746千円（増額分）
市民課	平和啓発看板設置は不要。	平和啓発事業として「平和を考える集い」を実施し、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さについて、一層の啓発に努めています。 平和啓発看板の設置は「非核平和都市宣言」「世界連邦平和都市宣言」の普及や啓発の取り組みとして必要と考えていますので、引き続き検討を行います。 当初予算対応状況：計上せず
産業振興課	観光公衆トイレ整備事業。トイレで2千万円というのはどういう積算か。どんな立派なトイレを作ろうとしているのか。要見直し。	トイレの外観については一般的な仕様としています。また耐久性、メンテナンスを考えユニット式トイレ(鉄骨造)にするとともに、高齢者、障がい者が使用しやすいように多目的トイレを設置し、バリアフリーにしています。また工事費については、浄化槽、電気、水道、排水、メッシュフェンス、看板設置工事費等を含んだ金額で積算しています。 当初予算対応状況：21, 505千円（工事費）
産業振興課	農業の付加価値を高めた戦略を、トマトカレーの戦略を深く考える事も必要になる様です。農業の付加価値は、農家さんでないと出来ません。だから自分が考えられるのは、パッケージ等だけです。例えば、ミニトマトなどはトマちゃん柄のジップロックコンテナなど、後で使える物で、目を引く物が有れば、宣伝になります。販促物などを考えたら良いと思います。トマトカレーはパッケージの可愛い、トマトカレーとサトウのご飯がついていたら面白いかなあと思います。個人的には雑木林はもっとオシャレに活用できると思います。オシャレな人達をもっと巻き込んで欲しいです。	本市の観光行政については、産業観光という面で捉えています。本市の知名度を向上させ、イメージアップを図り交流人口を増やすことにより、農・商・工の地域経済を発展させることを目的としています。御提案いただきました件については、今後、産業観光施策を進めていくうえでの参考とさせていただきます。 当初予算対応状況：55, 116千円（観光振興業務経費）

平成29年度当初予算各部予算要求の状況に対する意見回答

回答部署	意見	平成29年度当初予算における対応状況及び市の考え方・今後の方針
こども課	民間児童施設運営費支援事業はなぜ1億円も増えるのか。学童保育事業は児童数が増えても、国の交付金が増えても増額しない方針だった。こちらも増額は不要では。詳細な説明を求める。	民間保育園、認定こども園、幼稚園及び小規模保育事業者へ支払う委託費、施設型給付費及び地域型保育給付費の単価改正が行われたことと、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園が増えたことによる増額であり、子ども・子育て支援法などにより算出方法が定められています。当初要求時からの増額については、当初要求後に平成29年度の単価改善案等が示されたため、その案に基づき再計算したことによります。当初予算対応状況：157,172千円（増額分）
こども課	子育て支援に力を入れたらどうでしょうか。	こども医療費支給事業をはじめ、本市独自の事業として0歳児おむつ無料化事業や多子出産祝金支給事業等の予算を計上しています。今後も子育て支援に取り組んでいきます。当初予算対応状況：198,251千円（医療扶助・こども医療費）、18,644千円（0歳児おむつ無料化事業経費）、3,500千円（多子出産祝金）
こども課	平成28年度第46回北本母親大会学習会での要望について。	「公立保育所の再編に関する基本方針」に従い、保育環境の向上に努めていきます。御提案の第3子以降の利用者負担額の全額免除については、現在の財政状況での対応は難しいものと考えています。保育所における1歳担当保育士加配、市内各施設の保育士を対象とした研修会については実施しています。中央保育所の建替えにあたっては、保育士や父母会へのアンケート調査や意見交換会などを考えています。深井保育所の存続又は閉所については、「公立保育所の再編に関する基本方針」に従い進めていきます。ニーズ調査については、子ども子育て支援事業計画の見直しに合わせて実施していきます。
スポーツ健康課	パークゴルフ場で健康増進を図るとは市民を馬鹿にするのもいい加減にしてほしい。利用者はどのくらいで、健康増進にどのくらい効果があるのか。これから整備費でいくら掛けるつもりなのか。緊張感のない予算の最たるもの。絶対に認めることはできない。健康に遊べる人のため予算をつける必要はないし、やるならすべて利用者負担で回収すべき。	パークゴルフは、子供からお年寄りまで誰もがプレーできる身近なスポーツであり、スポーツを通じて、気軽に世代間や地域間での交流が図れることで、注目されています。年間の利用者は、約12,000人を見込んでいます。また、歩行を中心とした動作が多いため、市民の健康増進等に効果が期待できます。これからは、病気になってからの治療に加えて、元気なうちからの予防的な観点での取組も必要となります。現時点で、整備事業費の総額を約2億2千万円と見込んでいますが、今後、より一層効果が出せるよう健康増進の事業内容及び経済性を考慮した整備並びに維持管理の方法を検討してまいります。予算要求額については、検討を進める中で、当初予算要求額に敷地測量の予算を追加したものです。当初予算対応状況：13,255千円（測量及び設計費）
都市計画課	深井スポーツ広場の公有地化の必要性がわからない。これは果たして最優先されるべき事業なのか。お金がないといっておきながら2億4千万円も掛けて買い取るなど馬鹿げている。	深井スポーツ広場の面積約10,320平方メートルについて、平成27年に地権者の方から、相続が発生したことにより、自己所有で維持していくことが難しく、土地の売買も視野に入れている旨の相談を受けました。深井スポーツ広場は近隣公園として、市民の活動の場、憩いの場、そしてスポーツの拠点として重要な施設であることから、市公有地化に向けた土地購入費用を計上しています。当初予算対応状況：242,600千円
都市計画課	深井スポーツ広場等の土地の取得について、急がなくてはならないのでしょうか。スポーツ競技には必要かも知れませんが、駅から離れた場所の土地購入はリスクが有ると思います。総合公園や北本高校手前のグラウンドなどもあります。もっと土地の価格が下がってから購入検討されたら如何ですか。	同上。
都市計画課	中山道歩道美装化も同様。景観整備と創出が理由だとしたら不要。安全面で必要なら検討の余地あり。	中山道間の宿地区街なみ環境整備方針に基づき、中山道まちづくり協議会の意見を尊重して継続的に進めております。美装化については電線の地中化工事の完成後に歩道の復旧工事を兼ねて施工するものです。当初予算対応状況：18,200千円

平成29年度当初予算各部予算要求の状況に対する意見回答

回答部署	意見	平成29年度当初予算における対応状況及び市の考え方・今後の方針
久保土地区画 整理事務所	久保土地区画整理事業は一度休止して抜本的に見直すべき。将来的に財源が不足するなら真っ先にやめるべきこと。回収見込みのない大きな投資を続け、生活に密着した細々とした経費を削ることほど馬鹿馬鹿しいことはない。	<p>土地区画整理事業は、事業地内の土地所有者の皆さんから少しずつ土地を提供（減歩）してもらい、道路、公園などを整備することによって、土地の利用価値を高め、健全な市街地とすることを目的としています。</p> <p>この事業により土地の価値が上がることや、新たな住宅が増加することにより人口増加が見込まれ、固定資産税や市民税等の税収が増加すると考えられます。</p> <p>しかしながら、土地区画整理事業は一般的に事業完了までに長期間を要する事業であり、事業期間中は、その効果は現れにくいものとなっていますので、事業推進を図るなかで既存道路の活用や計画道路ルート変更、換地の集約による道路削減等、事業費の削減及び事業期間の短縮を検討し、早期に事業完了できるよう努めていきます。</p> <p>当初予算対応状況：198,123千円 （一般会計からの久保特定土地区画整理事業特別会計繰出金） 400,400千円（久保特定土地区画整理事業特別会計予算）</p>
文化財保護課	埋蔵文化財センターの整備もシンポジウムの開催も不要。これも優先順位が高いとは思えない。	<p>埋蔵文化財センターの整備は、旧給食センターを改修して設置が計画されたものです。来年度は工事を一時凍結しますが、現在、北本中学校B棟を利用している郷土資料室は耐震強度不足のため、引き続き移転計画を進めていきます。</p> <p>デーノタメ遺跡は、全国的にも大変価値が高い遺跡と評価されています。こうした文化財の情報を市は広く市民へ発信する義務があるため、シンポジウムを開催する等広報活動を行っていきます。</p> <p>当初予算対応状況：10,968千円（デーノタメ遺跡関連事業）</p>